

荷主とトラック事業者の 共創セミナー

起きる?
物流崩壊が
2024年



令和6年4月から始まる「トラック運転手の時間外労働の上限規制」により、物を生産しても届けることができない、材料を注文してもなかなか届かないといった「物流崩壊」が起きる可能性が言われています。深刻なトラック運転手不足を背景として、多重構造化しているトラック業界の諸問題を解決するためには、荷主とトラック事業者の有機的な連携の下、共創した取組が重要です。本セミナーを通じて、持続可能な物流の実現に向けて、諸課題を共に感じていただき、トラック事業者との共創の取組の一助になれば幸いです。



開催日

2022年 12月5日(月)

13:00開場 13:30開演 15:40終了予定



開催方法

会場開催 + WEB配信 参加費無料



会場

J:COM ホルトホール大分 大会議室



参加対象

大分県内の荷主企業、
貨物利用運送事業者(トラックの元請事業者)など



申込期限

2022年10月5日(水)~11月30日(水)



申込方法

申込フォーム(右記QRコードよりアクセス)
(FAXでのお申込の方は裏面ご参照)

お申し込みは
コチラから



主催:トラック輸送における取引環境・労働時間改善 大分県地方協議会(事務局:大分運輸支局、大分労働局、大分県トラック協会)

お問い合わせ(セミナーに関すること):九州運輸局大分運輸支局 TEL:097-558-2107(音声ガイダンス3)

お問い合わせ(お申し込みに関すること):プランニング大分(業務委託先) TEL:097-538-9661

荷主とトラック事業者の 共創セミナー



テーマ：荷主とトラック事業者の共創のすすめ

プログラム

①開会挨拶：大分労働局長 中山 晶彦

②基調講演(40分)

『トラック事業者と荷主の共創の必要性について～持続可能なトラック輸送の実現に向けて～』
(株式会社 野村総合研究所 アーバンイノベーションコンサルティング部 プリンシパル 森川 健氏)

③情報提供(10分×4)

『トラック運送事業に係る国土交通省の取組について』(九州運輸局 大分運輸支局 首席運輸企画専門官 辻 美貴善)

『トラック運送事業に係る労働行政の動きについて』(大分労働局 労働基準部監督課長 池辺 雅文)

『中小企業の取引条件改善への取組について』(九州経済産業局 産業部 取引適正化推進室長 黒木 肇氏)

『日本の物流コスト～2021年度物流コスト調査より～』(公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 事務局長 須山 泰木氏)

④事例発表(40分)

『持続可能な加工食品物流プラットフォーム構築を目指して』

(味の素 株式会社 上席理事 食品事業本部 物流企画部長 堀尾 仁氏)

⑤閉会挨拶：九州運輸局 大分運輸支局長 高原 哲

基調講演講師紹介



株式会社 野村総合研究所
アーバンイノベーションコンサルティング部
プリンシパル

もりかわ たけし
森川 健

1990年3月に東京理科大学理工学研究科土木工学専攻修了。同年4月に株式会社野村総合研究所に入社。以来、物流やロジスティクス、サプライチェーンに関わるコンサルティング業務に携わり、近年はトラック輸送などの物流の生産性向上に関わる官民の業務を数多く実施している。共著に「港湾IT革命」「戦略的SCM」「コンテナ物語」がある。現在、中央大学国際経営学部講師、国土交通省 物流施設に対する財政融資に関する外部評価委員会委員、日本ロジスティクスシステム協会ロジスティクス大賞ノミネート委員会委員、などを歴任。

事例発表者紹介



味の素 株式会社
上席理事 食品事業本部 物流企画部長

ほりお じん
堀尾 仁

1985年4月 味の素株式会社入社。人事労務、医薬事業、経営企画を経て、2014年7月物流企画部長。2019年上席理事食品事業本部 物流企画部長、F-LINE株式会社非常勤取締役。同業他社メーカーと連携し、F-LINEプロジェクト、SBM会議を立ち上げ、持続可能な加工食品物流プラットフォーム構築を目指し、製配販三層や行政当局、業界団体と連携しながら物流改革を推進している。

※新型コロナウィルスの感染状況などにより内容等の変更がある場合がございます。

(FAX申込用紙)

会社名

ふりがな

氏名

同行者の人数 ()人

部署

電話番号

- - -

メールアドレス

参加形態

来場 • WEB配信

※WEB配信にて参加される方は、後日視聴用URLをお送りしますので、必ずご記入下さい。

FAX送付先 097-538-9694 (業務委託先 プランニング大分 宛て)

いただいた個人情報は主催者と業務受託者が適切に管理し、本セミナーの運営のほか同様のセミナーの案内等のみに使用します。